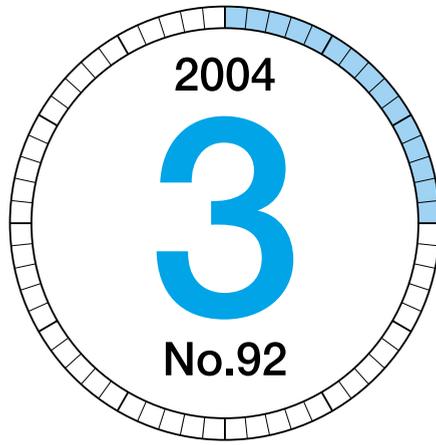


# シネマ

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

## Ciné-là



🎬 収蔵映画特集

# 80年代 韓国映画特集



ク  
純天然色

Ⓚ 無法松の一生

「無法松の一生」

特別企画

# 勝新太郎映画祭

「薄桜記」「不知火検校」「悪名」「続・悪名」「秦・始皇帝」「座頭市物語」  
「兵隊やくざ」「無法松の一生」「座頭市 血煙り街道」

特別企画

サイレント映画弁士・楽団付上映Vol.8

# 斎藤寅次郎監督「子宝騒動」



「子宝騒動」

# 80年代韓国映画特集

韓国映画が最初に国際的に注目された  
80年代ニューウェーブの作品を特集。

会期: 3月3日(水)~  
3月13日(土)

休館日・休映日除く

観覧料: 500円(大人)  
400円(大学生・高校生)  
300円(中学生・小学生)

定員制。各回入替制。  
チケットはすべて当日券。  
前売り券はありません。  
福岡市在住の障害者の方は無料。  
福岡市在住の65才以上の方は半額。  
(手帳の提示が必要です)



「風吹く良き日」

## 風吹く良き日

Fine Windy Days

3月3日(水)14:00 / 3月13日(土)11:00



中華料理屋の前持ちのトッペ、ラブホテルのボーイをしているキルナム、理髪店の雑用係チュンシク。田舎から夢を持ってソウルに出てきた若者達の青春をほろ苦く描いた作品。80年代韓国映画を代表するイ・チャンホ監督による、80年代ニューウェーブの先駆となった作品。

1980年/35ミリ/カラー/117分/韓国/日本語字幕付き/  
監督:イ・チャンホ/出演:アン・ソンギ、イ・ヨンホ

## 小さなボール

The Little Ball Tossed by a Dwarf

3月4日(木)14:00 / 3月12日(金)19:00



塩田を主産業とする村でキム一家は貧しくも肩寄せ合って暮らしていた。しかし塩田の閉鎖に伴って村人に立ち退き命令がでる。70年代の経済発展にともなって切り捨てられていく人々を美しいカメラワークで詩情豊かに描いた作品。

1981年/35ミリ/カラー/102分/韓国/日本語字幕付き  
監督:イ・ウォンセ/出演:アン・ソンギ、チョン・ヤンジャ

## 赤道の花

A Tropical Flower

3月4日(木)19:00 / 3月13日(土)17:30



ある青年が向かいのマンションに住む美しい女性に一目惚れする。青年は毎日彼女をのぞき見るうち、彼女が会社社長の愛人であることを知る。青年は彼女を不幸な境遇から救い出そうとする。ヒッチコックの「裏窓」を思わせるサスペンス映画で、阻害された都会人の孤独をテーマにしている。

1983年/35ミリ/カラー/104分/韓国/日本語字幕付き  
監督:ベ・チャンホ/出演:アン・ソンギ、チャン・ミヒ

## 馬鹿宣言

Declaration of Fools

3月5日(金)14:00 / 3月7日(日)14:00



ドン Chol は女子大生ヘヨンに一目惚れ。友人のユントクと共にヘヨンの誘拐を企てる。ところがヘヨンは実は娼婦であり、ドン Chol 達のせいでヘヨンは娼婦街を追放されてしまう。80年代韓国映画の中でも異彩を放つ本作は、通常のドラマを無視した即興演出により製作され、閉鎖的な韓国社会の現状を見事に描いている。

1983年/35ミリ/カラー/92分/韓国/日本語字幕付き  
監督:イ・チャンホ/出演:イ・ボヒ、キム・ミョンゴン

<特別企画> サイレント映画弁士・楽団付上映 Vol.8

斎藤寅次郎監督

# 「子宝騒動」

会期: 3月14日(日)14:00 観覧料: 1,000円

入場には、往復ハガキでの応募が必要です。チケットはすべて当日券。前売り券はありません。特別企画につき、障害者割引、高齢者割引はありません。映像ホール開場及びチケット販売は13時からです。



斎藤寅次郎監督は、東宝製作によるエノケン等を主演としたコメディ映画で知られているが、真骨頂はなんといってもサイレント時代に松竹で製作したナンセンスコメディにある。しかし斎藤監督のサイレント映画はほとんどが失われ、現存するのはわずか3本しかない。今回はそのうちの2本の作品を上映。斎藤監督のずば抜けた喜劇の才能は、その片鱗だけでも我々を驚かせるに十分である。

**お申し込み方法** 往復ハガキに 郵便番号 住所 氏名 電話番号 「斎藤寅次郎監督特集観覧希望」と記入の上、下記宛先まで申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。あらかじめご了承下さい。応募締め切りは2月27日(金)必着。お一人様往復ハガキ1枚で申し込みください。

**宛先** 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1 福岡市総合図書館 映像資料課宛

3月13日(土)14:00より

## 「アジア映画のニューエイジ」

(大久保賢一)1950年東京生まれ。75年に原将人と雑誌「NEW CINEMA EXPRESS」を刊行、自主上映作品の上映会を精力的に行う。80年代には映画評論の傍ら「ぴあフィルムフェスティバル」の審査を行う。90年代にはベルリンやカンヌなどの国際映画祭の審査員も行う。多摩美術大学講師。著書として「世界の映画作家/ハリウッド・ルネッサンス」(キネマ旬報)「荒野より」(立風書房)などがある。



講師: 大久保賢一  
(映画評論家)

講演は有料で当日の「鯨とり」の観覧料に含みます。開場は開演の30分前。

## 鯨とリーコレサニヤン

The Whale Hunter

3月5日(金)19:00 / 3月13日(土)15:00



何の取り柄もない大学生のピョンテは、ある日「親分」と呼ばれる浮浪者に会おう。親分に売春宿に連れて行かれたピョンテは、そこで出会った娼婦のチュンジャを故郷につれていく約束をする。80年代韓国映画を代表する作品で、当時大ヒットを記録している。親分を演じるアン・ソンギが素晴らしい。

1984年/35ミリ/カラー/111分/韓国/日本語字幕付き  
監督:ベ・チャンホ/出演:アン・ソンギ、キム・スチョル

## ディープ・ブルー・ナイト

Deep Blue Night

3月6日(土)11:00 / 3月12日(金)14:00



アメリカに密入国したベクは、永住権を手に入れるためバーで働くジェーンと偽装結婚をする。最初は打算で偽装結婚したジェーンだが、次第にベクを愛するようになる。多額の予算とオール・アメリカ・ロケで製作された本作は、躍進する80年代韓国映画の象徴的な作品である。

1984年/35ミリ/カラー/110分/韓国/日本語字幕付き  
監督:ベ・チャンホ/出演:アン・ソンギ、チャン・ミヒ

## キルソドム

Gilsodm

3月6日(土)14:00 / 3月11日(木)14:00



裕福な家庭の主婦として暮らすファヨンだが、10代の頃子供を産み、戦争のため恋人トンジンと別れ別れになった過去があった。ある日偶然トンジンと再会したファヨンは子供を探す旅に出る。南北分断の悲劇を扱った作品は多いが、本作はその代表作と高く評価されている。

1985年/35ミリ/カラー/101分/韓国/日本語字幕付き  
監督:イム・グオンテク/出演:キム・ジミ、シン・ソンイル

## 黄真伊(ファン・ジニ)

Hwang Chin-ee

3月6日(土)17:00 / 3月11日(木)19:00



貴族の娘であるファン・ジニは、いつしか身を落としキーセンになってしまう。様々な男に翻弄されるファン・ジニだが、彼女の純粋さだけは変わることがない。イ・チャンホ監督と並び80年代の韓国映画を代表する監督であるベ・チャンホが、李朝時代に実在したファン・ジニの生涯を溝口健二的な表現により格調高く描いた作品。

1986年/35ミリ/カラー/119分/韓国/日本語字幕付き  
監督:ベ・チャンホ/出演:チャン・ミヒ、チョン・ムソン

## 旅人は休まない

A Man with Three Coffins

3月7日(日)11:00 / 3月10日(水)14:00



スン・ソクは亡くなった妻の遺骨を故郷の北朝鮮の村に返そうとするのだが、国境を越えられず、あてない旅を続けるのだった。しかしある村で妻にそっくりの女性に出会う。イ・チャンホ監督が自らの映画会社を立ち上げて製作した作品。南北分断や土俗信仰などのテーマが描かれ、芸術的に高く評価された作品である。

1987年/35ミリ/カラー/104分/韓国/日本語字幕付き  
監督:イ・チャンホ/出演:キム・ミョンゴン、イ・ボヒ

特別企画

# 勝新太郎映画祭

会期: 3月17日(水)~3月27日(土)

休館日・休映日除く

観覧料: 600円(大人)500円(大学生・高校生)  
400円(中学生・小学生)

定員制・各回入替制。

チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

福岡市在住の障害者の方及び福岡市在住の65才以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)

60年代に大映娯楽映画のスターとして活躍し、その後自らのプロダクション「勝プロ」を設立、映画、TVで活躍した勝新太郎。昨年は1997年に死去した彼の七回忌にあたり、東京を皮切りに昨年から今年にかけて各地で勝新太郎映画祭が開催されています。福岡市総合図書館でもこの映画祭の上映作品を中心に60年代の大映時代の出世作、代表作をセレクトして上映、併せて講演会を実施いたします。

## 薄桜記

3月17日(水)14:00 / 3月21日(日)11:00



赤穂浪士の討ち入りを背景に、丹下典雄(雷蔵)と中山安兵衛(勝新)二人の剣士の明暗を格調高く謳い上げた時代劇映画の金字塔。友情、恋、そして武門の意地に葛藤する安兵衛を勝新ならではの快活さで見事に演じ切って、妖気すら漂う雷蔵と火花を散らす。

1959年/35ミリ/カラー/109分/大映/監督:森一生/原作:五味康祐/脚本:伊藤大輔/出演:市川雷蔵

## 不知火検校

3月20日(土・祝)11:00 / 3月26日(金)19:00



白塗り美男子役者だった勝新太郎が、斬髪し容姿を汚して挑戦したのが極悪の限りをつくす強烈なアンチヒーローだった。本作で勝新の豪快で精悍な魅力が開花、翌年の「悪名」、翌々年の「座頭市物語」へと繋がっていく。中村玉緒とは本作が初の本格的な共演となる。

1960年/35ミリ/モノクロ/91分/大映/監督:森一生/原作:宇野信夫/脚本:犬塚稔/撮影:相坂操一/共演:中村玉緒、近藤美恵子、丹羽又三郎

## 無法松の一生

3月18日(木)14:00 / 3月27日(土)11:00



名作「無法松の一生」の4度目の映画化作品。監督は「座頭市」の三隅研次だが、1943年の阪東妻三郎主演、稲垣浩監督による最初の映画化と同じ伊丹万作の脚本を使用している。粗野だが純情な小倉の車夫、松五郎と陸軍大尉の未亡人親子との交流を描いた作品。

1965年/35ミリ/カラー/96分/大映/監督:三隅研次/脚本:伊丹万作/撮影:牧浦地志/音楽:伊福部昭/共演:有馬稲子、宇津井健、二宮秀樹

## 講演会

3月20日(土・祝)14:00より

## 「俳優・勝新太郎の魅力」

(上野昂志)1941年東京生まれ。66年から評論活動を始め、68年映画批評誌「シネマ69」創刊に際し、蓮実重彦、山根貞男らと共に映画批評に本格的に取り組み。72年には吉田喜重監督の「戒厳令」のプロデューサーを務める。著書として「映画=反英雄たちの夢」(話の特集社)「肉体の時代-体験的60年代文化論」(現代書館) また共著として「鈴木清順全映画」(立風書房)などがある。



講師:上野昂志  
(映画評論家)

講演は有料で当日の「座頭市物語」の観覧料に含みます。開場は開演の30分前。

## 座頭市物語

3月20日(土・祝)15:10 / 3月26日(金)14:00



記念すべきシリーズ第1作目。盲目で居合抜きの名手という破天荒なアンチヒーローを勝新は見事に体現。異形でかつどこかユーモラスな役柄を得て、勝新の魅力は一気に開花した。新東宝から大映に入社したハードボイルド役者・天知茂が演じる病の剣士との決闘が鮮烈な印象を残す。

1962年/35ミリ/モノクロ/96分/大映/監督:三隅研次/脚本:犬塚稔/撮影:牧浦地志/音楽:伊福部昭/共演:天知茂、万里昌代、島田竜三

## 兵隊やくざ

3月18日(木)19:00 / 3月27日(土)14:00



鬼才・増村保造監督が初めて本格的に勝新太郎と組んだシリーズ第1作。本作で増村の実力を買った勝は、その後勝プロに増村を招いて3本撮らせる。戦場を舞台にした戦争映画にも関わらず、二人の男の青春映画の趣があり、鑑賞後の爽快感溢れる傑作である。

1965年/35ミリ/モノクロ/103分/大映/監督:増村保造/脚本:菊島隆三/撮影:小林節雄/共演:田村高廣、淡路恵子、滝瑛子、成田三樹夫

## 秦・始皇帝

3月19日(金)14:00 / 3月24日(水)14:00



「釈迦」に続き製作された70mm超大作。万里の長城を建設した秦の始皇帝の足跡を辿る一大歴史絵巻を完全映画化。豪華キャストをはじめ、巨大な万里の長城のセットや台湾ロケが行われた大モブシーンなどは圧巻の一語。勝は主人公・秦の始皇帝役を演じて壮大な物語を牽引する。

1962年/35ミリ/カラー/160分/大映/監督:田中重雄/脚本:八尋不二/撮影:高橋通夫/音楽:伊福部昭/共演:市川雷蔵、長谷川一夫、山本富士子、若尾文子、本郷功次郎、中村玉緒、宇津井健

## 悪名

3月21日(日)14:00 / 3月25日(木)14:00



シリーズ第1作。農民の息子朝吉は遊郭の女を巡りモートルの貞と対決。だが貞は朝吉の男気に一目惚れ。共演の中村玉緒とクラック・イン直前に婚約。本作のヒットが二人への祝杯となった。脚本や撮影など溝口監督のスタッフが集結し格調高い作品に仕上がった。

1961年/35ミリ/カラー/94分/大映/監督:田中徳三/脚本:依田義賢/撮影:宮川一夫/音楽:伊福部昭/美術:内藤昭/共演:田宮二郎、中村玉緒、中田康子、水谷良重

## 座頭市 血煙り街道

3月19日(金)19:00 / 3月27日(土)17:00



子連れ旅の道中で、市の温かい人間味が滲み出る代表作。それとは対照的にラストで展開する剣戟スター・近衛十四郎との雌雄を決する壮絶な一騎打ちは、息を呑む。89年、ハリウッドでフィリップ・ノイス監督、ルトガー・ハウワ主演で「ブラインド・フューリー」としてリメイクされた。

1967年/35ミリ/カラー/87分/大映/監督:三隅研次/脚本:笠原良三/撮影:牧浦地志/音楽:伊福部昭/共演:近衛十四郎、高田美和、朝丘雪路、中尾ミエ、坪内ミキ子

## 続・悪名

3月21日(日)17:00 / 3月25日(木)19:00



大阪でやくざの親分に気に入られ強引に組を持たされてしまった朝吉。ところが満州事変が勃発し、朝吉に召集令状が届く。朝吉は意を決して組を解散することにする。1作目の後編であるシリーズ第2作。本シリーズは、田宮二郎にとっても初の当たり役で出世作。

1961年/35ミリ/カラー/93分/大映/監督:田中徳三/脚本:依田義賢/撮影:宮川一夫/美術:内藤昭/共演:田宮二郎、中村玉緒、浦路洋子、水谷良重、中村扇治郎

## 子宝騒動

サイレント期の斎藤監督のコメディ映画のタッチを現在に伝える貴重な作品。

1935年/16ミリ/モノクロ/サイレント/34分/松竹/監督:斎藤寅次郎/出演:小倉繁、出雲八重子

## 明け行く空

シリアスな母ものメロドラマだが、随所に斎藤監督らしい笑いが顔をのぞかせる。

1929年/16ミリ/モノクロ/サイレント/60分/松竹/監督:斎藤寅次郎/出演:川田芳子、高尾光子

## 弁士: 澤登翠(さわとみどり)



故松田春翠門下。弁士としてのキャリアはすでに30年を超えており、洋画、邦画、時代劇、現代劇と多彩なレパートリーを持つ。日本国内だけでなくパリやニューヨークなど海外でも公演を行っており、弁士の存在と「伝統話芸・活弁」を伝える貴重な存在として活躍している。

## 楽団: カラード・モトーン

無声映画の音楽(生演奏)を行うために結成された専属合奏団。

カラード・モトーンメンバー紹介  
指揮・三味線:湯浅 丈一  
ピアノ:新垣 隆  
フルート:鈴木 真紀子  
ヴァイオリン:木ノ下 亮子  
太鼓:足立 克巳

### 3月 上映スケジュール

1	月	休館日
2	火	休館日
3	水	【14:00】風吹く良き日
4	木	【14:00】小さなボール 【19:00】赤道の花
5	金	【14:00】馬鹿宣言 【19:00】鯨とリ
6	土	【11:00】ディープ・ブルー・ナイト 【14:00】キルゾム 【17:00】黄真伊(ファン・ジニ)
7	日	【11:00】旅人は休まない 【14:00】馬鹿宣言
8	月	休館日
9	火	休映日
10	水	【14:00】旅人は休まない
11	木	【14:00】キルゾム 【19:00】黄真伊(ファン・ジニ)
12	金	【14:00】ディープ・ブルー・ナイト 【19:00】小さなボール
13	土	【11:00】風吹く良き日 【14:00】大久保賢一講演会 【15:00】鯨とリ 【17:30】赤道の花
14	日	【14:00】クラシカル映画祭 斎藤寅次郎監督特集「子宝騒動」/「明け行く空」
15	月	休館日
16	火	休映日
17	水	【14:00】薄桜記
18	木	【14:00】無法松の一生 【19:00】兵隊やくざ
19	金	【14:00】秦・始皇帝 【19:00】座頭市 血煙り街道
20	土(祝)	【11:00】不知火検校 【14:00】上野昂志講演会 【15:10】座頭市物語
21	日	【11:00】薄桜記 【14:00】悪名 【17:00】続・悪名
22	月	休館日
23	火	休映日
24	水	【14:00】秦・始皇帝
25	木	【14:00】悪名 【19:00】続・悪名
26	金	【14:00】座頭市物語 【19:00】不知火検校
27	土	【11:00】無法松の一生 【14:00】兵隊やくざ 【17:00】座頭市 血煙り街道
28	日	自主上映「白い巨塔」
29	月	休館日
30	火	休映日
31	水	休館日

## インフォメーション

ビデオライブラリーは4月～5月までお休みします。

多くの方々に図書館の資料を活用していただくために、6月からビデオテープの館外貸出を実施することになりました。CDやカセットブックは1人2点まで、ビデオテープについては1点の貸出を行う予定です。

ビデオライブラリーでのビデオテープやCDのブースでの提供は老朽化に伴い3月末をもって終了致します。長い間ご利用いただきありがとうございました。

お休みの期間中は、貸出実施に向けた準備を行います。準備中、ご迷惑をおかけ致しますがよろしくお祈りします。なお、貸出中のCDの返却は4月以降も受け付けます。

### ビデオ編集技術研究室のご案内

ビデオ研究室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄)詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

### 団体の自主上映について

平成16年3月28日(日)「白い巨塔」(監督:山本薩夫)  
11:00～13:30映画上映 / 14:00～16:30映画上映  
観覧料 / 一般前売券:1200円(当日:1400円、シニア:1000円)  
主催 / 福岡映画サークル協議会(TEL781-2817)  
\*自主上映の詳細については、直接主催者にお問い合わせください。

## アーカイヴ news

### 活動弁士の はなしあれこれ

無声映画の上映中、脇に立ち、生演奏と共にシーンの説明や台詞などを朗々と語り、映画を盛り上げる職業を活動弁士と呼び、無声映画時代、映画になくはならないものでした。この活動弁士という呼称ですが、これは一般に関西での呼び名で関東では映画説明者と呼ばれることも多かったようです。それ以外にも関西と関東ではそのスタイルも違っていたといわれ、関西では感情豊かに雄弁に朗々と語り、関東では必要最小限の説明をタイミングよく入れていく弁士が人気が高かったようです。どちらにする日本では無声映画に弁士はつきもので初期の映画雑誌には各映画館の花形弁士の紹介記事が大きく取り上げられており、また映画のシナリオを掲載するのではなく、弁士の語りや語り口調そのままに載せられています。こうした雑誌の編集者は自ら映画館に足を運び、弁士の語りを筆記して掲載していたといえますから、当時の活弁がどのようなものであったかを知る数少ない資料の一つです。ただ、この時代のフィルムは完全な形ではほとんど残っていないということが残念ですが...

さてその活動弁士ですが当然ながら映画が誕生した時からあったわけではありません。活弁映画より先に声画映画というのがあり、これはスク

リーン上の演技にあわせてスクリーン脇や裏にいる複数の人間が声色を用いながら台詞をあてるというものでした。こうした声色は字幕やカットの切り替わりもほとんどなく、演劇の舞台をそのまま撮影したような映画が主流であった時代に用いられたが、映画表現の進歩や複数の語り手が必要であるという経済的な理由などから弁士にとってかわられました。

日本での活動弁士の草分けといえれば日本で最初の常設映画館である浅草電気館の弁士であった染井三郎でしょう。浅草電気館はもととX線など電気仕掛け技術を見せ物とする小屋でしたが、経営不振から1903年に映画常設館になり、それまでそこで電気仕掛けの見せ物の口上をしていた染井はそのままのこり、映画の説明をして人気を博したといえます。染井はその後、帝国館に移り、当代随一の活動弁士として当時の映画雑誌に紹介されています。

こうした活動弁士は以後、トーキーが普及する1930年代まで活躍しました。こうした活弁付き上映というのは日本を含むアジアの一部だけで見られた形態で、欧米でも1910年頃までは一部で行っていたようですが、その後は映画上映中は生演奏の伴奏がつくだけで、台詞や説明は字幕によってなされるようになります。日本でこれほど活弁が普及浸透した背景にはもともと講談や落語といった語り芸が娯楽として普及していたことや、文楽に義太夫の語りがつくという形式が古くから一般的であったことなどを指摘されています。

山本幸(映像調査員)



### 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄：  
西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス：  
天神～都市高速経由～福岡タワー南口  
(所要時間:昼間約20分)  
博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口  
(所要時間:昼間約25分)

福岡タワー南口バス停から徒歩3分

いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話:733-3333)に直接お問い合わせください。

### 公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力をいただきますようお願いいたします。

## Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là 福岡市総合図書館映像ホール・シネマ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609  
福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

デザイン / 株式会社ホワイトスペース 印刷 / 株式会社修文堂印刷